

..... 編集後記

◆ 昔、編者がまだ若かったころ、ろくに下調べもせずに、阪急御影駅に降り立ちました。御影石の本場であろうと思ったからです。駅前で店の人に聞きました。御影石の石切り場にはどうやって行けばよいでしょうか。店の人は答えました。みかげいしって、なんや。別な人にも聞きました。そんなもん知らん。しかたなく、六甲の山に向かって登り始めました。中腹の至る所で宅地造成の工事が行われており、道がわかりにくくなっていました。立ち止まって地図を見ていると、工事関係者が、車の中から、そっちだと指し示してくれました。言われたとおりに行きました。そこはハイキングコースでした。ハイカーだと思われたのでしょう。御影石には触れずに帰りました。それにしても、御影石の知名度は低いものだと、変に感心しました。

◆ その後、同じ関西の、能勢妙見の花崗岩類の巡見に参加しました。次々と新しい花崗岩類が貫入してきた様子が見える露頭を、案内者が生き生きと指し示してくれたのが印象的でした。石切り場には原石が転がっていました。当時、一尺立方3千円とのことでした。均質な部分が好まれ、脈などがあると売れないそうです。当時学生の編者が、脈があるということは、生きていたということだから、墓石には適さないから売れないのじゃないかと言ったら、いつも気難しい顔をしている岩石の先生が、ケケケッと笑ったのを覚えています。

◆ ハットンという名前を見ただけで、本を閉じてしまいたくなるほど、その手の岩石学が苦手な編者の反対側には、好きで好きではない岩石学者がたくさんいて、学会を開いています。にしても、当時のヨーロッパには、宮沢賢治を長生きさせたような(多才という意味です)研究者がたくさんいたのですね。

◆ 学会の講演内容の紹介を見ると、その堅さがよくわかります。一方、野外巡検の雰囲気は、様々であったようです。案内者の個性によるものなのでしょう。また、案内者の感想がぼつりぼつりと書かれていて、大変参考になりました。地質の巡検で、すべてがハッピー、誰もがハッピーというのは難しいようです。

◆ 一般に、国際学会に参加するためには、お金がかかります。かなりかかります。ですから、金持ちの国から参加することはできますが、貧乏な国からは参加できません。花崗岩の研究分野ではどうなっているのでしょうか。また、最近では、学会参加を装って、不正にビザを取得しようとする、あやしげな申し込みも横行しているそうです。学会開催苦労話が記されています。

◆ 昔話ばかりで恐縮ですが、1970年代に、ある花崗岩研究者が、火山学会に出席して、自分がなぜここにいるかなどと問われるのは心外であります。わたしは、火山の根っこの研究をしているのです、と発言しました。それからだいぶ経ちました。両者の関係はどうなったのでしょうか。とんでもなく新しい花崗岩、現在でも500℃を超える葛根田花崗岩の発見は、関係者に大きな衝撃を与えました。編者は、比較的浅部にある、この、ほとんどマグマと言っても良いほど高温状態である岩体の存在を、事前に地表探査で検出できなかったことが、なおいっそう衝撃でした。これでは、もっと深いところにあるマグマの探査など夢の話です。まわりの火山の活動との関係はどうなっているのでしょうか。

◆ 岡崎の花崗岩の紹介文によれば、わが国は花崗岩の原石及び製品を輸出しているとのこと。最近、産業の空洞化現象を危惧する声が聞かれています。これとの関係はどうなのでしょう。昨年、標本館特別展示の絡みで、富士山の溶岩を加工して製品を作る仕事について、御近所の石材加工業者に問い合わせたところ、発注者の希望価格では、日本ではできません、ということでした。そのような安い価格で作るためには、日本の石材を、アジアの各国へわざわざ持って行って加工するのだそうです。

◆ 日高の山々は、写真を見るだけでぞっとします。地質調査をすることを考えた場合にです。熊には会わないのでしょうか。地殻規模の花崗岩体の断面を観察するのだという強い意志が野外調査を可能にしているのでは。

(須藤 茂)

地質ニュース編集委員会

委員長：須藤 茂
副委員長：谷田部信郎
委員：高木哲一・関口春子・中島 隆・
安川香澄・飯笹幸吉

連絡先：地質調査総合センター 地質標本館
〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1
Tel. 029-861-3754
Fax. 029-861-3569

地質ニュース	第593号	2004年	1月号
	定価 ¥785 (本体価格 ¥748)	〒実費	
2004年1月1日	発行		
編集	産業技術総合研究所		
発行人	株式会社 実業公報社		
	代表者 林 光生		
発行所	株式会社 実業公報社		
	東京都千代田区九段北1の7の8 〒102-0073		
	Tel. (03) 3265-0951 Fax. (03) 3265-0952		
	E-mail: j-k@jitsugyo-koho.co.jp		
	振替口座 00110-6-32466		
	麹町局私書箱第21号		
印刷	株式会社 エアフォルク		

© 2004 Geological Survey of Japan

●本誌は東京都の霞ヶ関政府刊行物サービスセンターに常備してあります。また、最寄りの書店でも注文できます。

地質ニュースに関するご意見は編集委員会へ